

西播

播磨
てくてく

●読者の皆さまの身近な
情報をお待ちしています。

こんにちは

健康歩道を設置。地域に開放

揖保郡太子町老原 桑田 静昭さん 47歳

本誌第四九二号で紹介した太子町老原の「健康歩道」の設置者がこの人、桑田さんです。



「毎日三百人ほどが利用されています。十二月にはみんなで忘年会をやるんですよ」

中播

アンティーク時計愛好家が仲間を募集中

姫路市苦編の池田さん。情報や部品交換を

「男の場合、身につけるものといったら限られるでしょ。時計にこだわっているうち、自然にアンティークにたどりついたという感じ」

古い腕時計から次第に、柱時計や他の骨董品にも目が止まるようになり、一年前には喫茶&アンティークの店「ピリケンドウ」をオープン。時を前後して常連客らと「アンティーク時計愛好会」を発足した池田和彦さん(三三) 〓姫路市苦編

「大量生産されている現代のものと違って、ひとつひとつが人間味に溢れ、しかも高性能。せめてマニアが守っていかないと」

もっかのメンバーは、八人。「ピリケンドウ」に集っては時計談義や情報交換に花を咲かせています。「いったん止まってしまった時計を再生するのも大きな喜びなんです。最近では修理しようにも部品が手にはいらなくなりました。愛好会をつくったのは部品交換の場が欲しかった

造園業を営む桑田さんが、脳内出血で倒れたのは六年前。玉石を敷き詰めた「健康歩道」は自身のリハビリを兼ねて周辺住民に無料で開放しているもので、歩道には先の取材時(本年7月)にはなかった屋根が設けられていました

「雨の日も歩きたいという人が多くてね。不眠や便秘の解消から、なかにはリウマチがよくなったという人もいて、予想外の反響に驚いています。下は十代から上は九十代まで、ご夫婦で来られる人も多く、健康に対する関心の高さがよく分かります」

一時は完全にマヒしていた左半身も徐々に回復。さらなる回復を願って設置したのが足裏刺激の「健康歩道」で、今ではひと目見ただけでは不自由さが分からないほどになった桑田さん。「負けん気だけは人一倍さすがに倒れて三か月ほどは落ちこみました。このまま終わってしまえるものかと、入院中に家を新築しましたね」

院で業者と打ち合せて建てたもので、造園業を更に継がせるのは無理があると、万に備えて自宅療養中に園芸店を開店。その気力は並みではありません。「自分の健康法にと設けたものがまさかこんなに喜んでもらえるなんて。体調がよくなったと聞かされたら我がことのように嬉しいですね」

そんな声をデータに残せたらと、この度アンケート調査を実施。利用回数や体調の変化などの集計と利用者たちの声をまとめたプリントは、効果のほどを如実に示しています。

「歩道が地域や家族のコミュニティに役立つていることも嬉しいですね」桑田さん宅でも今では妻と二人の子ども(高校生)の家族全員が歩いているとか。敷地内にテントを張って行なう忘年会では、希望者(先着60人)で焼カキや粕汁、松葉ガニなどをほおばる予定。歩道は健康と人の輪を運んでくれました

からということもありまして

液晶時計の寿命は三十年とされているようですが、機械の場合は手入れさえしてやれば百年前のもので正確な時を刻み、柱や置き時計と合わせると池田さん

のコレクションは約百点に及びます。なかにはロレックスやオメガの高級品もあって、「人に見せるために集めているんじゃない、あくまで自己満足、その日の気分が時計を選ぶのも楽しいです」



コレクションを広げて。中央は店名にもなったアンティーク人形「ピリケンドウ」

情報と部
のためには
多くの仲間
と、広く会
集中で、「二
ナログファ
はぜひ仲間
池田さん
同会では
ほか勉強会
ついています
☎079
531

親子でホンモ

29・30日(姫路)A

「子どもに夢を、よく豊かな創造性を」十七年前に福岡で生い出た七十五五劇場に、姫路地方を中心に「姫路子ども劇場」は年に誕生しました



同じ立場の人

姫路YMCA

姫路YMCAでは、今年4月に「相談室」を学童期から青年期に子どもたちの悩みの心づいていますが、来はそんな子どもにどうしてよいか戸惑った親を対象にした「子ども親の集い」を開く